

差込型シャッター&アッテネーター機能付き LD光源ユニット model:AOS108HS



アッテネーターを差し込んだ形

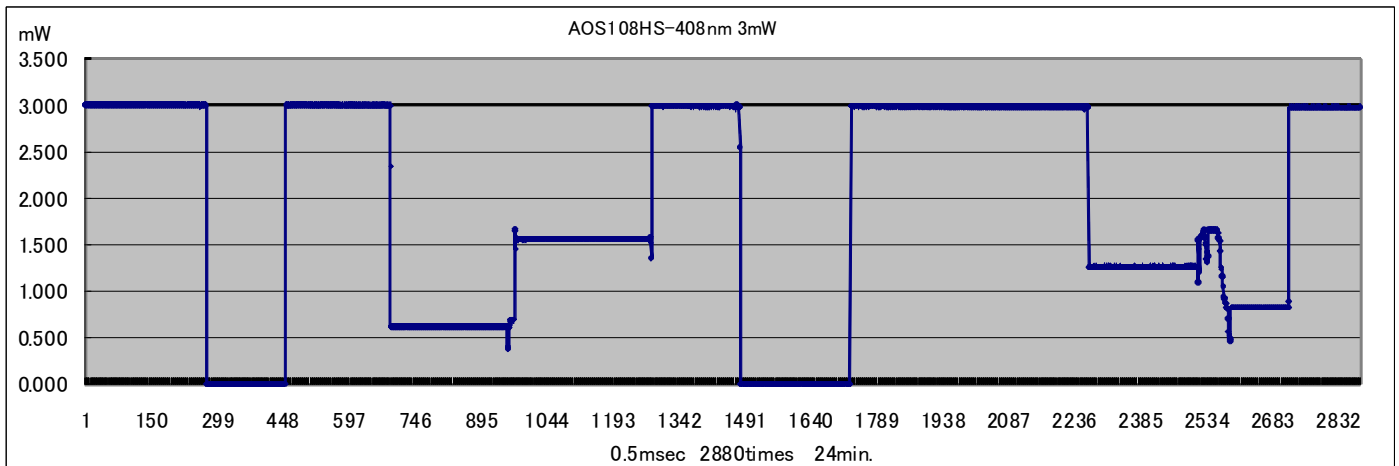


両方を抜いた形



両方を差し込んだ保管の形

通常のAOS108光源ユニットに、手でシャッターやアッテネーター棒を挿入するタイプです。LDのオン・オフや出力を電氣的に調整すると発熱状態が変わったり、出力調整ダイヤルの正確な位置戻しが出来なくなります。それ故にスイッチのオンオフ以前の出力再現性が悪くなります。この問題を避けるために電氣的な出力は固定したままで、シャッター棒やアッテネーター棒を差し込むことで機械的にオン・オフしたり出力調整が出来るようにしました。



- 注1：その他の仕様はAOS108に準じます。 注2：シャッター棒を抜いた瞬間は出力が元に戻るには若干の時間がかかります。APCの計算動作に時間がかかるためです。
- 注3：アッテネーターの場合は操作時に若干の乱れが生じます。
- 注4：青紫色、青色、赤色、近赤外LDモジュールを組み込むことが出来ます。

Optical Research **ORSA** System Architect

web <http://www.orsajp.com> mail: welcome@orsajp.com phone: 048-485-9303 fax: 048-485-9304

(有)オルサ 〒335-0031 埼玉県戸田市美女木 1-17-14-303